

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1143
事業コード		事務事業名	臨時従事員共済事業	
根拠法令等	健康保険法、雇用保険法等	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	臨時従事員の健康保険等の共済事業を
手 段	事業課労務担当職員の事務及び電算処理により
想定する成果	法令に従い、正確迅速に処理し、適正な労務管理を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
臨時従事員数	465 名	420 名	307 名
社会保険料	178,566 千円	145,958 千円	102,151 千円
雇用保険料	23,723 千円	21,726 千円	21,017 千円

④成果指標

	①	②
成果指標名	従事員1人当り年間社会保険料	従事員1人当り年間雇用保険料
成果指標の説明	年間社会保険料÷臨時従事員数	年間雇用保険料÷臨時従事員数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	332,740
	実績	384,012	347,518	—
成果指標 ②	計画	—	—	68,459
	実績	50,801	51,728	—
事業費	事業費	202,288	167,683	123,168
	人件費	4,822	4,826	3,182
	(人数)	0.6	0.6	0.4
	合計	207,110	172,509	126,350
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	9,320	8,804	6,822
	一般財源	197,790	163,705	119,528

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	離職者の不補充と従事員手当の見直しにより共済費の総額を抑えた。
経済効率性	2	2	保険料の算定基礎となる4月～6月の開催日程調整により、保険料総額を抑える措置の検討が必要
事務効率性	2	2	人員に見合った成果を挙げている。
必要性	3	3	臨時従事員の共済事業は、事業主が行う事業である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
○従事員数の削減 H16.4.1 465名 → H17.4.1 420名 → H18.4.1 307名 ○従事員手当（特定日出勤手当、特別手当等）の見直し（17年度～） ○雇用調整の実施（16年度、17年度） ○基本賃金水準の引下げ（18年度～）	34,605 千円

⑧今後改善すべき点

従事員基本賃金水準の更なる引下げによる、共済費の引下げ。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1143
事業コード		事務事業名	臨時従事員災害補償事業	
根拠法令等	労働基準法、労働安全衛生法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	業務中及び通勤途中に被災した臨時従事員に、
手 段	事業課労務担当職員が被災従事員本人及び関係機関と連絡調整し、
想定する成果	法令に従い、正確迅速に医療補償、休業補償を行う。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
労災保険料	6,816 千円	4,968 千円	4,466 千円
年度当初従事員数	465 人	420 人	307 人
労災発生件数	3 件 (2)	3 件 (3)	3 件 (2)

()は通災、再掲

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	労災発生率 (%)	通勤災害発生件数
成果指標の説明	被災従事員 ÷ 年度当初従事員数 × 100	通勤災害被災従事員数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	1.0 %
	実績	0.6 %	0.7 %	—
成果指標 ②	計画	—	—	2 件
	実績	2 件	3 件	—
事業費	事業費	6,816	4,968	4,466
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	8,423	6,577	6,057
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,423	6,577	6,057

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	発生件数は横ばいの状況にある。
経済効率性	3	3	人員の削減、手当・賃金の見直しにより、保険料の縮減に結びついた。
事務効率性	2	2	臨時従事員に対するこの事業の周知が必要と思われる。
必要性	3	3	臨時従事員の災害補償事業は、事業主が行う事業である。
小計	11 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	臨時従事員の災害補償事業は、事業主が行う事業であり、災害発生件数の減少に向けた取組みが必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
16年度と17年度の事業費の縮減は、保険料率が4.385から3.77に変更となった点が大きい。17年度に従事員手当の見直しを行い、労災保険料の縮減に結びついた。	1,848 千円

⑧今後改善すべき点

労災適用事案にかかわらず、安易に社会保険の給付を受けてしまう従事員が居る。従事員等への周知、教育を徹底し、正確で迅速な労災適用ができるようにしていく必要がある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1143
事業コード		事務事業名	競走水面管理事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	レース開催日の競走水面の
手 段	浮遊物等の除去及び競技用消耗品等の検査確認を行うことにより
想定する成果	円滑で安全なレース開催を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
掃海日数	192日	186日	180日
業務量	3人×20分×192日	3人×20分×186日	3人×20分×180日

④成果指標

成果指標名	①	②
	年間延べ業務時間	開催日1日当たり事業費
成果指標の説明	年間延べ業務時間	年間事業費÷開催日数

⑤事業の進捗状況（モーターボート競走事業特別会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	180 時間
	実績	192 時間	186 時間	—
成果指標 ②	計画	—	—	1,698 円/日
	実績	732 円/日	7,661 円/日	—
事業費	事業費	141	1,425	306
	人件費	3,214	3,218	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	3,355	4,643	3,488
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,355	4,643	3,488

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	掃海業務を行うことにより、事故防止に努めることができた。
経済効率性	2	2	掃海業務に見合った成果を挙げている。
事務効率性	2	2	人員に見合った成果を挙げている。
必要性	3	3	市が施行者として実施すべき事業である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	競走水面の管理は、施行者として市が実施して行かなければならない事業である。
------	---	---	---------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ○ 浮遊物の多い時期及び大量に藻が発生した時期は、他の職員を動員して、レース開催に支障の無いよう処理した。 ○ 17年度には、競技用ターンマークブイ購入、救助艇の整備（委託料）を行い、競走水面の管理に努めた。 	

⑧今後改善すべき点

レースの安定的な開催のため、開催時間までに適切な掃海作業を継続していく。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	ポイントカードサービス事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 <u>Eなし</u>

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡競艇場入場者に
手 段	ポイントカードに入場ポイントを加算し、それに応じてグッズと交換することにより
想定する成果	蒲郡競艇場への来場者増と売上向上を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
延交換者数	5,082	3,163	3,500
交換換算額	6,623,600	2,798,500	2,500,000
本場売上額	30,439,407,700	26,334,074,200	22,428,000,000
登録会員数	13,462	13,967	14,500
総入場者数	1,390,771	654,536	645,000

④成果指標

成果指標名	①	②
	交換者1人あたりの交換換算額	会員登録割合
成果指標の説明	交換換算額／延交換者数	登録会員数／年間総入場者数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	715円
	実績	1,304円	885円	—
成果指標 ②	計画	—	—	2.25%
	実績	0.96%	2.13%	—
事業費	事業費	8,781	9,692	8,695
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	10,388	11,301	10,286
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,388	11,301	10,286

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	制度は定着したものの、登録会員数に伸び悩みの感があり、新たな方向転換も一考すべき。
経済効率性	2	2	トトまるグッズの人気は依然として高く、来場者増に寄与するものの、売上額向上に直結していない。
事務効率性	2	2	システム自体は有効に機能しているが、顧客データの入力に時間を要する。
必要性	2	2	リピーター確保に効果的である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	8 /15 満点中	8 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	トトまる＝蒲郡競艇という認識が定着しつつあり、グッズ交換サービスによる蒲郡競艇来場者増へのインセティブは高い。売上に結びつける視点が必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年度中に現金交換サービスを終了したことで、不正利用者及びトラブルが激減した。	

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 在庫状況にあわせ、ポイント交換に工夫を凝らし、ロスが少ないようにすべき。 売上向上に結びつくよう、来場促進を確保しつつ、舟券ラッキーカード等舟件購入額に伴うサービス提供という展開にシフトすべき。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ **現状維持** ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	出走表製作事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 <u>Eなし</u>

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡競艇勝舟投票券購入予定者に
手段	出走表を印刷することによって
想定する成果	蒲郡競艇勝舟投票券購入数の増加を図る

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
印刷部数(枚)	4,901,100	4,236,200	4,140,000
印刷経費(円)	76,514,968	65,830,548	64,335,600
入場者数(人)	1,390,771	654,536	645,000
自場売上額(円)	30,439,407,700	26,334,074,200	22,428,000,000

④成果指標

成果指標名	①	②
	入場者1人当たりの出走表取得数	出走表1枚当たりの自場売上額
成果指標の説明	出走表配印刷部数/蒲郡競艇場入場者数	自場売上額/出走表印刷数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	6.4枚
	実績	3.5枚	6.5枚	—
成果指標 ②	計画	—	—	5,417円
	実績	6,211円	6,216円	—
事業費	事業費	76,515	65,831	64,336
	人件費	2,411	2,413	2,387
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	78,926	68,244	66,723
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他 一般財源	78,926	68,244	66,723

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	入場者1人当たりの取得数が少なくなるよう改善を試みている。
経済効率性	2	2	売上向上に必須であり売上貢献度は高いが、さらなる経費削減が求められる。
事務効率性	2	2	責任校正で、年間を通じて誤りは極めて少ないため事務効率性はよい。
必要性	3	3	蒲郡競艇の勝舟投票券を購入するために必須。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> ・売上増につながるよう、紙面にて情報の出し方に工夫を重ね、紙面を充実させた。 ・残数が少なくなるよう日々の印刷注文部数を精査し、不足分は随時追加印刷で対応している。また、外向けと場内の出走表の紙質を同一にし、残数の無駄を少なくした。 ・敷物として無駄な使用がないよう出走表に呼びかけ記事を掲載したり、グリーンホール2F出走表箱の廃止、入場門でお一人1枚の貼り紙掲示、入場門での出走表手渡しなどを実施した。 	16年度から17年度で10,684,420円の縮減

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供量（方法）と予想紙との兼ね合い。 ・無駄の無い配布方法の検討。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	インターネット等広告事業	
根拠法令等		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡競艇について関心のある人に
手 段	インターネットホームページ等を提供し
想定する成果	蒲郡競艇の情報を広く提供する。

③事業の概要

(委託料:円)

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
HP運営委託料A	1,506,750	2,757,825	3,249,000
携帯運営委託料B	3,081,750	1,749,825	2,684,430
A B総アクセス数	540,203件	1,530,721件	2,500,000件
無料ライブ放送委託料C	—	8,730,000	9,080,040
C総アクセス数	—	49,659,354件	55,000,000件

④成果指標

成果指標名	①	②
	1アクセス当たりの情報提供単価	1アクセス当たりの情報提供単価
成果指標の説明	委託料A+B / A B総アクセス数	委託料C / C総アクセス数

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	2.37円
	実績	8.49円	2.94円	—
成果指標 ②	計画	—	—	0.17円
	実績	—	0.18円	—
事業費	事業費	4,589	13,238	15,014
	人件費	2,411	2,413	2,387
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	7,000	15,651	17,401
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,000	15,651	17,401

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	3	充実した内容になってきている。
経済効率性	2	2	通信インフラの整備により、インターネットが爆発的に普及したため、効率の良い情報提供手段といえる。
事務効率性	3	3	ホームページ更新を業者委託しているため、迅速かつ正確でデザイン性に富んだページが提供されている。
必要性	3	3	リアルタイムな情報を場所に関係なく提供するためには、欠かせない手段である。
小計	10 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	市民参加は皆無だが、競艇ファンからは要望の高い事業。
合計	10 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・インターネットによる無料ライブ放送を取り入れたことで、ホームページの利用者が激増した。 (売上内訳のうち、電話投票による売上比率が上昇傾向にある。)	

⑧今後改善すべき点

・全国30万人の電話投票会員の中でもインターネットで舟券購入をする会員が激増しており、そのニーズに応えるため、さらなる質の向上を目指したサイトの実現を研究すべき。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
事業コード		事務事業名	案内所・インフォメーションセンター運営事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇場来場者に
手段	自場・他場のレース情報、電話投票、JLCなど競艇に関する情報等を提供することで
想定する成果	蒲郡競艇場来場者へのファンサービス向上を図る。

③事業の概要

（委託料：円）

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
委託料	6,000,831	6,198,436	15,034,500
民間委託職員	2	2	5
臨時従事員	6	5	0
開設時間	通常レース：午前10時30分～午後4時45分・ナイターレース：午後2時10分～午後8時35分		

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	案内所・インフォメーションセンター業務委託料	

⑤事業の進捗状況

（ モーターボート競走事業特別会計 ）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	15,035
	実績	6,001	6,199	—
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	23,721	21,478	12,569
	人件費	1,607	1,609	1,591
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	25,328	23,087	14,160
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他 一般財源	25,328	23,087	14,160

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	平成17年度途中から案内所業務を民間委託したことにより、スタッフの年齢が下がり、対応も丁寧になったことからファンとのトラブルが減った。
経済効率性	2	2	17年度途中より案内所業務を民間委託したが、さらに現状の改善を含め委託料節減の方法を研究する必要がある。
事務効率性	3	3	案内、情報提供業務について委託しており、効率はよい。
必要性	3	3	舟券購入方法や各種情報を提供する場所であり、必要。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度途中より案内所、インフォメーション業務を従事員5名+民間委託職員2名の体制から、従事員0名+民間委託職員5名の体制に切り替え、サービスの向上に努めた。 従事員にかかる人件費が大きく減ったこと等によりトータル的には大幅な経費削減につながった。 	17年度と比べて8,909千円の減

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ファンからの要望をきめ細やかに収集しており、できることから改善を進めたい。 インフォメーションにてサービス提供のあり方について検討すべき。 (例えば、紙ベースで提供する情報はインク等の消耗が激しく間接的な事務経費を要することなどが挙げられる。)

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174		
事業コード		事務事業名	選手賞金等支払事業			
根拠法令等		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	蒲郡競艇のレース出場選手に
手 段	正確・迅速に選手賞金を払うことにより
想定する成果	モーターボート競走の適正な運営を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
選手賞金等支払額	1,549,795,200	1,377,076,100	1,272,697,000
支払対象選手数	1,602	1,606	1,565
支払回数	37	37	36

④成果指標

成果指標名	①	②
	選手一人当たり支払い金額	1日当たり支払い金額
成果指標の説明	年間選手賞金/支払い対象選手数	年間選手賞金/レース開催日数

⑤事業の進捗状況 (モーターボート競走事業特別会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	813
	実績	967	857	—
成果指標 ②	計画	—	—	7,071
	実績	8,072	7,404	—
事業費	事業費	1,549,796	1,377,077	1,272,697
	人件費	2,411	2,413	2,387
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	1,552,207	1,379,490	1,275,084
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,552,207	1,379,490	1,275,084

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	モーターボート競走選手処遇要領に基づき正確に支払いがされている。
経済効率性	2	2	選手処遇要領に基づき支払いがされている。このため、売上減少に伴い、全国モーターボート施行者協議会等での適正な賞金額の検討が必要。
事務効率性	3	3	優勝戦日の翌々日には口座振替を行なうよう処理しており、事務効率性は高い。
必要性	3	3	モーターボート競走選手処遇要領に基づき支払いがされている。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・平成14年度から毎年モーターボート競走選手処遇要領の見直しがされており、平成17年度までの4年間で全国総額33.4億円の減額があった。	平成18年度は、蒲郡競艇場分で前年度比114,000千円の削減が見込まれている。

⑧今後改善すべき点

・各競艇場単独で選手賞金額等を改正することはできないので、競艇業界の全国的売上減少を考慮し、全国モーターボート競走施行者協議会で検討することが必要。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	事業課	内線等	97-1174
----	-------	-----	-----	---------

事業コード		事務事業名	番組編成、出場選手幹旋事業		
根拠法令等		A法令	B条例	C規則	Dその他 <u>Eなし</u>

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象(受益者)	競艇ファン、出走表印刷業者、マスコミ等に対して
手 段	選手幹旋調整会議等で調整して人気選手を獲得することと併せ、日々のレース組編成事項、参加選手・レース結果の情報・詳細データ等を提供することで
想定する効果	新聞等を通じてより多くの情報をファンに発信してもらい蒲郡競艇の売上を図る。

③事業の概要

(売上額:円)

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
延幹旋選手/開催節数	1602人/37節=43.3人	1606人/37節=43.4人	1565人/36節=43.5人
年間開催日数	192	186	180
年間総売上額	65,011,004,700	55,367,329,900	51,433,700,000

④成果指標

成果指標名	①	②
	1日平均売上額	前年度比
成果指標の説明	年間総売上額/年間開催日数	1 - (当該年度売上/前年度売上)

⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	285,743
	実績	338,599	297,674	—
成果指標②	計画	—	—	△7.1%
	実績	△9.5%	△14.8%	—
事業費	事業費	1,497	962	1,307
	人件費	5,625	3,218	3,182
	(人数)	0.7	0.4	0.4
	合計	7,122	4,180	4,489
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,122	4,180	4,489

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	番組編成業務は、愛知県モーターボート競走会への委託だが、売上増につながる編成となるよう注文をつけている。また、前夜版の発行、マスコミ等への資料・データ提供も正確・迅速を心がけている。また、幹旋会議においても舟券が売れる番組になるような人気のある選手が招致できるよう調整に最善を尽くしている。
経済効率性	2	2	マスコミ、予想業者への資料・データの提供で、競艇ファンへのPRにつながる。
事務効率性	3	3	県モーターボート競走会の委託により、効率的に執行されている。
必要性	3	3	番組編成作業、マスコミ等への資料提供、ファンへの前夜版発行など欠くことのできないものである。
小計	11 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	11 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	評価の説明
			番組内容による売上額への影響が大きいことを念頭におき、ファンの心理をつかんだ編成が重要である。また、情報提供の正確かつ迅速性を維持できるよう日々努力をしている。

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
・5、6日制タイトル戦に準優戦を導入することで、大幅な売上増につながった。 (試算：年間20節準優戦を導入⇒1,000万程度×3レース×20節=6億円程度の売上増)	準優戦の導入に伴い選手賞金が20節で1,000万円程度必要

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・現在夏季ナイターレースの場合、予選最終日は9レースまでが予選となっており、10レース以降は一般戦となっているため、売上が落ちる傾向にある。スポーツ紙各社の了解が必要であるが、予選レースを少しでも後半に移動し、売上増への努力を行なう。 ・冬季ナイターの最終レース発売締切時間を延長することにより、12Rの発売増及び午後5時以降にスカイパーフェクトTVの競艇チャンネル「レジャーチャンネル」で放映できるレースを増やし、電話投票の売上増につなげる。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】